



# を広める人 >>>



角館高校2年  
新田目 真弥 さん

問 仙北市地方創生・総合戦略室 ☎43-3315

仙北市は平成30年6月に「SDGs 未来都市」に選定されて以来、シンポジウムやポスター、広報などで周知活動をしています。このコーナーでは、少しずつ広がりを見せるSDGsの重要性を理解し、自ら積極的に行動している人をご紹介します。

角館高校の授業で、生徒が「地域活性化」をテーマにしたプロジェクトを考え、発表する機会がありました。「観光」「歴史・文化」「産業」など、複数ある探求テーマから「公共事業の現状・公共施設の利活用」を選択し、SDGsの視点も取り入れてプロジェクトを提案した新田目さんから、SDGsに対する考えを語っていただきました。



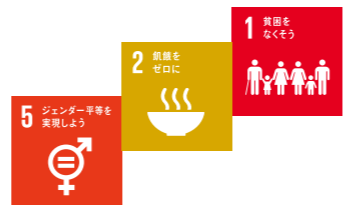
## 新田目さんのプロジェクト案!!

仙北市の深刻な課題は、人口減少の中でも転出が転入を上回ってしまう“社会減”。解決のためには、「この地に住み続けたい」「移住したい」と思えるような新たな魅力を作る必要があります。

そこで注目したのは秋田の高い学力水準。学習・学問の分野で地域住民の交流を生む「市民一斉テスト」を提案します。ただテストを受けるだけでなく、グループで話し合ったり、その後の学習の相談相手になったり、生涯学習を含む新たな交流によって、市全体で学習に取り組む雰囲気が形成されます。SDGsのゴール4（質の高い教育をみんなに）からゴール11（住み続けられるまちづくりを）にもつながる取り組みです。

## ★どうすればSDGsの目標を達成できると思いますか？

SDGsは、17の目標すべてを達成できてこそゴールだと思います。エコバッグの利用や電気、ガスの節約は広がってきている一方で、貧困、飢餓、ジェンダー平等など、すぐに解決することが難しい目標もあります。そのような目標についても、時間をかけてみんなで考え、取り組んでいくことが重要ではないでしょうか。



## 新田目さんから皆さんへメッセージ

大切なのは、SDGsに関わる課題をみんなが解決したいと思うこと。快適に住み続けるために、自分でできることは何かを考え、一人ひとりが行動することでゴールに近づきます。取り組みにくい目標についても関心を持ち、みんなで目標を達成しましょう!!



## 春!笑顔でスタート!!

4月、新しい学年のスタートです。7日(中学校)、8日(小学校)に新入生を迎え、市内の小・中学校は新体制が整いました。今年度はどんな1年になるでしょう。希望に満ちた笑顔のみんなに「どんな人になりたいか」を聞きました。



鈴木未来さん 上手な美容師になりたい。  
武藤颯佳さん 優しい看護師になりたい。



相馬一颯さん 警察官になりたい。  
佐々木海翔さん 漁師になりたい。



門脇伶皇さん どんな試合でも負けないテニスプレイヤーになりたい。  
江橋柊人さん プロゲーマーになって1番になりたい。  
佐藤大雅さん ユーチューバーになって、再生回数とチャンネル登録者数を1番にしたい。



門脇未奈さん 優しい人になりたい。  
三浦桜さん いろんなことに真剣に取り組める人になりたい。



加藤遥さん みんなの役に立つ人になりたい。  
下田遼さん 親切ないい人になりたい。  
田口天晴さん 安定した仕事について、優しい人になりたい。



山本怜奈さん 優しい人になりたい。  
鈴木小春さん 物知りになりたい。  
佐藤伶煌さん スポーツが得意な有名人になりたい。



第114号